

平成 19 年 11 月 20 日

(各 位)

会社名 三菱製紙株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 健
(コード番号 3864 東証・大証第一部)
問合せ先 上席執行役員
社長室経営企画部長 板倉 完次
電話 03-3213-3763

中期経営計画（ポストフェニックスプラン）骨子のお知らせ

三菱製紙株式会社（本社：東京都千代田区丸の内三丁目 4 番 2 号）は、このたび、2008 年度～2010 年度の経営計画骨子を策定し、次年度より実施して行くこととしましたので、お知らせいたします。

当社は、2007 年度を最終年度とする中期再生計画（フェニックスプラン）に沿って経営を進めており、その目標達成に向けて全力を挙げているところであります。

当社を取り巻く環境は、原燃料価格の高騰・高止まりをはじめとして依然として厳しく、今後も一層厳しい情勢を予測しております。このため、当社は、フェニックスプランで築き上げてきた基盤をさらに強固にした上で、さらなる成長の実現を目指してまいります。

記

1. 計画の期間

2008 年 4 月～2011 年 3 月

2. 位置付け

フェニックスプランで取り組んできたコスト構造改革と財務体質改善をさらに推進し、次代の成長ステージへの確固たる基盤作りと成長の実現による真の自立再生を目指すもの。

3. グループの目指す姿

- (1) 『ハイグレード&情報メディアの三菱製紙』という独自ポジションを確立し、業界トップレベルの収益性を確保する。
- (2) 印刷・情報用紙事業、デジタルイメージング事業、開発事業の 3 事業がバランス良く成長する企業体を構築する。

4. 基本方針

(1) 戦略的アライアンスの推進

- ・ RC原紙における富士フイルムとの提携
- ・ 印刷用紙における三菱製紙販売と北越製紙との提携、その他各社とのOEM
- ・ 情報用紙における王子製紙との提携
- ・ 開発事業におけるアライアンス

(2) 国内販売力の強化

- ・ 三菱製紙販売の販売力強化と顧客サービス機能の強化
- ・ ダイアミツクの技術商社としての機能強化
- ・ インクジェット用紙の高付加価値ブランド拡大
- ・ F S C森林認証紙等の環境対応商品拡販

(3) グローバル市場展開

- ・ インクジェット用紙の世界シェア拡大
- ・ 感熱紙のアジア市場展開強化に向けたアライアンスによる生産拠点の確保
- ・ ドイツ事業の高付加価値品へのシフトによる収益力強化

(4) 次世代成長プラットフォームの整備

- ・ 八戸工場の将来の拡張を見据えた生産インフラ投資の実施
- ・ RC原紙、インクジェット用紙の世界シェア獲得体制構築
- ・ 海外市場展開強化に向けた拠点確保

(5) コスト構造改革

- ・ 工場コストダウンのさらなる推進
- ・ 他社との提携も含めた物流コストの削減
- ・ I Tインフラの整備によるB P Rの推進

(6) C S R経営の推進

- ・ 環境経営のより一層の強化
- ・ グローバル規模での植林事業の拡大
- ・ F S C森林認証紙拡大と森林管理への参画を実現する『F S Cの森』の取組み
- ・ 内部統制体制の確立と法令遵守体制の徹底
- ・ すべてのステークホルダーへの貢献継続

(7) グループ連結経営の強化

- ・ 各グループ関連会社の収益力強化と成長の実現
- ・ グループ経営の高度化と事業スルーでの業務の最適化

5. 設備投資

競争力強化、次代の成長に向けた積極的な設備投資推進

戦略投資総額 265億円

主な戦略投資

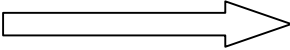
- ・ RC原紙増産設備
⇒ 成長実現のためにRC原紙生産基盤を拡充

- ・ インクジェット用紙増産設備
⇒ 成長加速のためにインクジェット用紙生産基盤を拡充

- ・ 八戸、高砂の情報用紙OEM対応
⇒ 王子製紙との提携

- ・ 八戸回収ボイラー
⇒ 次世代成長のために八戸工場のインフラを整備

6. 経営数値目標

	実績（見込み）	計画			
	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
売上高	2,580億円	2,760億円	2,850億円	3,000億円	
営業利益額	100億円	133億円	152億円	184億円	
経常利益額	70億円	100億円	120億円	150億円	
経常利益率	2.7%	3.6%	4.2%	5.0%	
有利子負債残高	1,540億円				1,440億円
自己資本比率	24%				30%超

以上